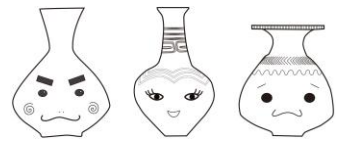


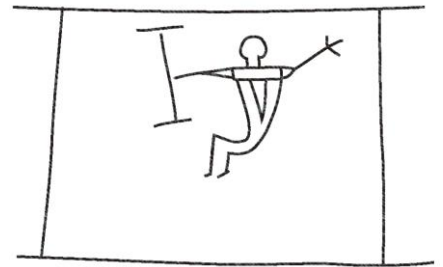
どきどき通信 No. 1



菊川市埋蔵文化財センターどきどきでは平成 26 年度に文化庁の「地域の特性を活かした史跡等総合活用支援推進事業」として国及び県からの補助を受けて加茂地区の白岩遺跡から出土した柁（かせ）と横地地区の殿ヶ谷遺跡から出土した漆皿の複製品を業務委託で製作しました。



柁とは糸を巻いて束ねる道具で、白岩遺跡から出土したのは弥生時代のもので、直接型取りをして樹脂で作り直しました。



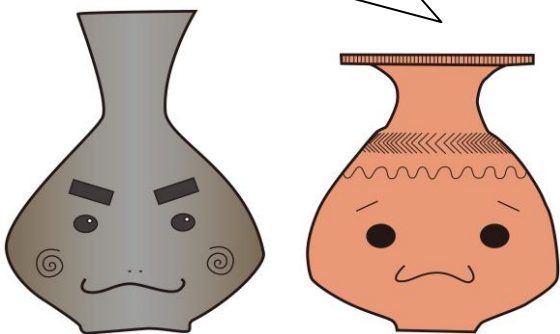
(東京国立博物館 HP 画像よりトレース)

香川県から出土したと伝わる銅鐸に描かれた絵です。釣りをしている、など諸説ありますが、柁を持っているというのも有力な説です。

貴重なお宝ぞくぞく?!

今回複製品を作成した遺物はどちらも木を加工して作られた木製品です。木製品は土に埋まっていると腐って分解されてしまいます。しかし、水や粘土の中など水分が多く空気に触れない状態や極端に乾燥した状態にあるとすべてが分解されてしまわずに形が残るため、遺跡の発掘調査の際に再び我々の前に姿を現します。出土した木製品は形がほぼそのまま残っているため一見丈夫なように見えますが、分解されたところに水が浸み込んでスポンジ状になっているため非常に柔らかく、そのまま持ち上げると壊れてしまうこともあります。そこで、木製品に特殊な樹脂などを浸み込ませて水と入れかえて固めてしまう含浸法と呼ばれる保存処理を行っています。しかし保存処理を行なっても、温度が上がれば樹脂が溶けだしたり、光に当たることによって色が落ちたりしてしまうため、長い期間展示することは遺物の劣化につながります。そこで、市内から出土した貴重な資料をいつでも皆さまが見ることができるようするために、本物そっくりな複製品を展示することにしました。柁は比較的残存状態がよかったため、直接型取りをして樹脂で作り直しました。

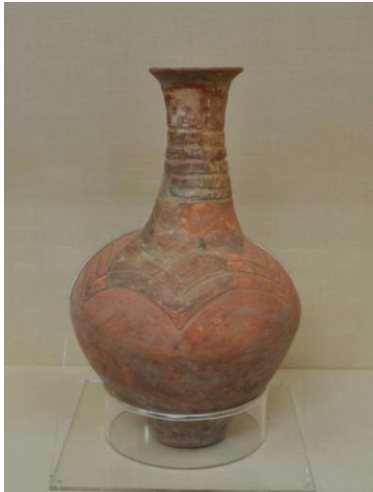
ぼくたちもまってるよん



殿ヶ谷遺跡出土の漆皿は非常に薄く、表面の漆を傷つけないためにも、最近話題の 3D プリンターを用いて作成しました。

殿ヶ谷遺跡は国指定史跡菊川城館遺跡群に含まれる中世の遺跡です。

逸品コーナー



みねだ
嶺田遺跡から出土した弥生時代の壺です。嶺田遺跡は旧岳洋中学校、現在は工場となっているところが中心と考えられます。昭和 29（1954）年に岳洋中学校の社会科研究クラブの生徒によって見つけられたものです。

破片から復原されたもので、大部分は石膏でできていますが、「嶺田式土器」として考古学の世界では有名な逸品です。



私を見に来てね

今年もやるよ！ ときどきフェスティバル

昨年開催したときどきフェスティバルを今年も開催！

小学低学年以下の「土器作り」と高学年の「焼きびな作り」の2コースを用意しています。

7月26日（日）と8月9日（日）の2日間でそれぞれ完成させます。

詳しくはちらしを見てね。

また、職業体験の受け入れも可能です。お気軽にお問い合わせください。

菊川市埋蔵文化財センター ときどき

開館時間 8：15～17：00
定休日 土日 祝日 年末年始
入館料 無料

菊川市教育委員会 文化振興係
〒437-1514 静岡県菊川市下平川618-1
TEL 0537-73-1137

みんなでときどき
体験しよう！！



©菊川市

平成 27 年度の発掘調査の予定をお知らせします。7～8 月頃に子ヶ崎遺跡（川東）と鹿島打上遺跡（打上）の発掘調査を予定しています。いずれも耐震性貯水槽の設置工事に伴う調査です。

調査対象面積はともに約 90 m²と狭いですが、子ヶ崎遺跡からは奈良時代の建物が、鹿島打上遺跡は弥生時代から古墳時代の住居やお墓が見つかるかもしれません。調査の結果は次号で紹介します。

速報!! 現場から

